

## 1 通報状況

- ・令和2年10月1日に発生した異臭について、消防局や環境創造局に通報が寄せられた時間帯及び場所は図1のとおり。
- ・18時12分頃に中区本郷町付近で最初に通報が寄せられ、その後、西方向（南区、戸塚区）及び南西方向（港南区）で通報があった。

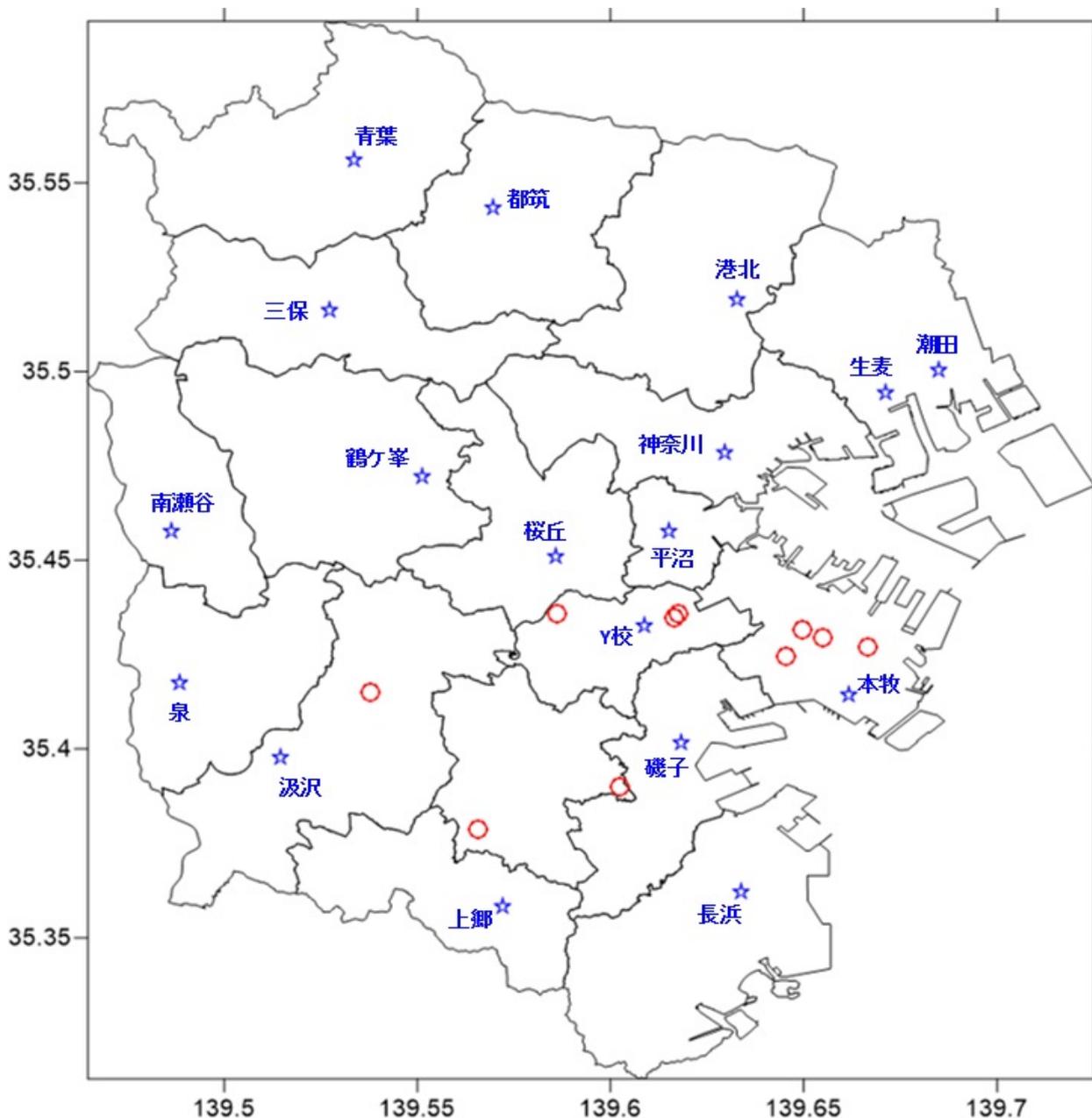


図1 異臭通報地点（☆印は一般環境大気測定局）

## 2 風向風速

- ・異臭の通報が寄せられた時間帯（18時台）において、一般環境大気測定局（以下、一般局）で測定した風向風速結果は図2のとおり。
- ・異臭の通報が寄せられた時間帯（18時台）では、横浜市内における風向の傾向はほとんど変わらず、最初に通報が寄せられた場所から近い「中区本牧測定局」では、海から陸方向（北東～東方向）の風向きであった。

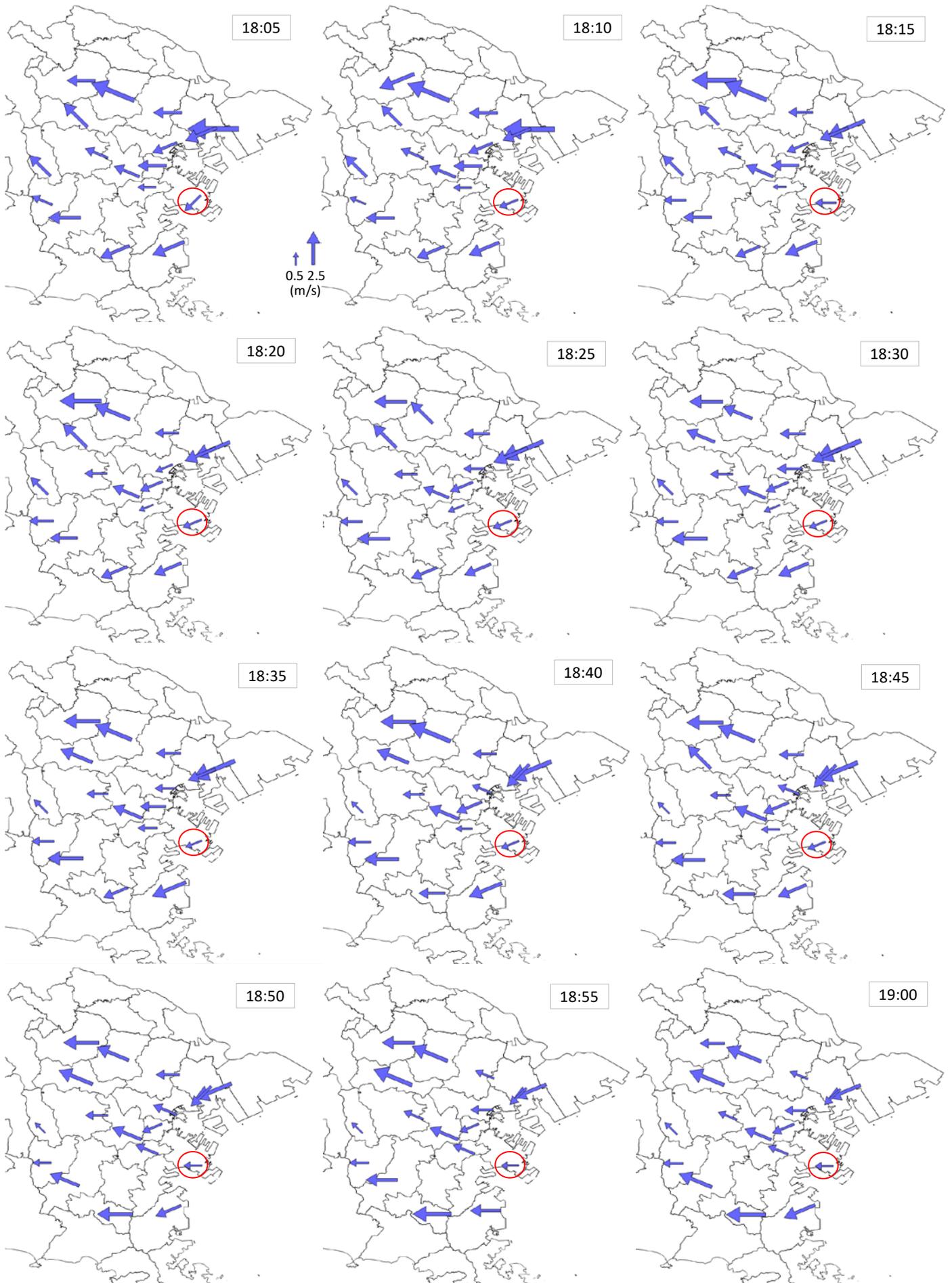


図2 異臭の通報が寄せられた時間帯の風向風速図

### 3 一般環境大気測定局で測定した大気汚染物質データの解析結果

- ・通報が寄せられた場所に近い一般局（中区本牧測定局、南区横浜商業高校測定局、磯子区総合庁舎測定局）における窒素酸化物（NO, NO<sub>x</sub>）、光化学オキシダント（O<sub>x</sub>：主成分であるオゾン（O<sub>3</sub>）を測定）及び非メタン炭化水素（NMHC）濃度の推移は図3のとおり。
- ・異臭の通報が寄せられた時間帯に、中区本牧測定局ではNO<sub>x</sub>濃度の上昇及びO<sub>x</sub>濃度の減少が見られた。また、NO<sub>x</sub>濃度上昇の際は、NO濃度が上昇していた。さらに、NMHC濃度は通報前の17時台に上昇していた。
- ・「南区横浜商業高校測定局や磯子区総合庁舎測定局ではこのような大気環境の変化が見られなかったこと」や「中区本牧測定局ではNO濃度が上昇したこと」から、南区横浜商業高校測定局や磯子区総合庁舎測定局より、中区本牧測定局のほうが発生源から近い場所にあったと推測される。

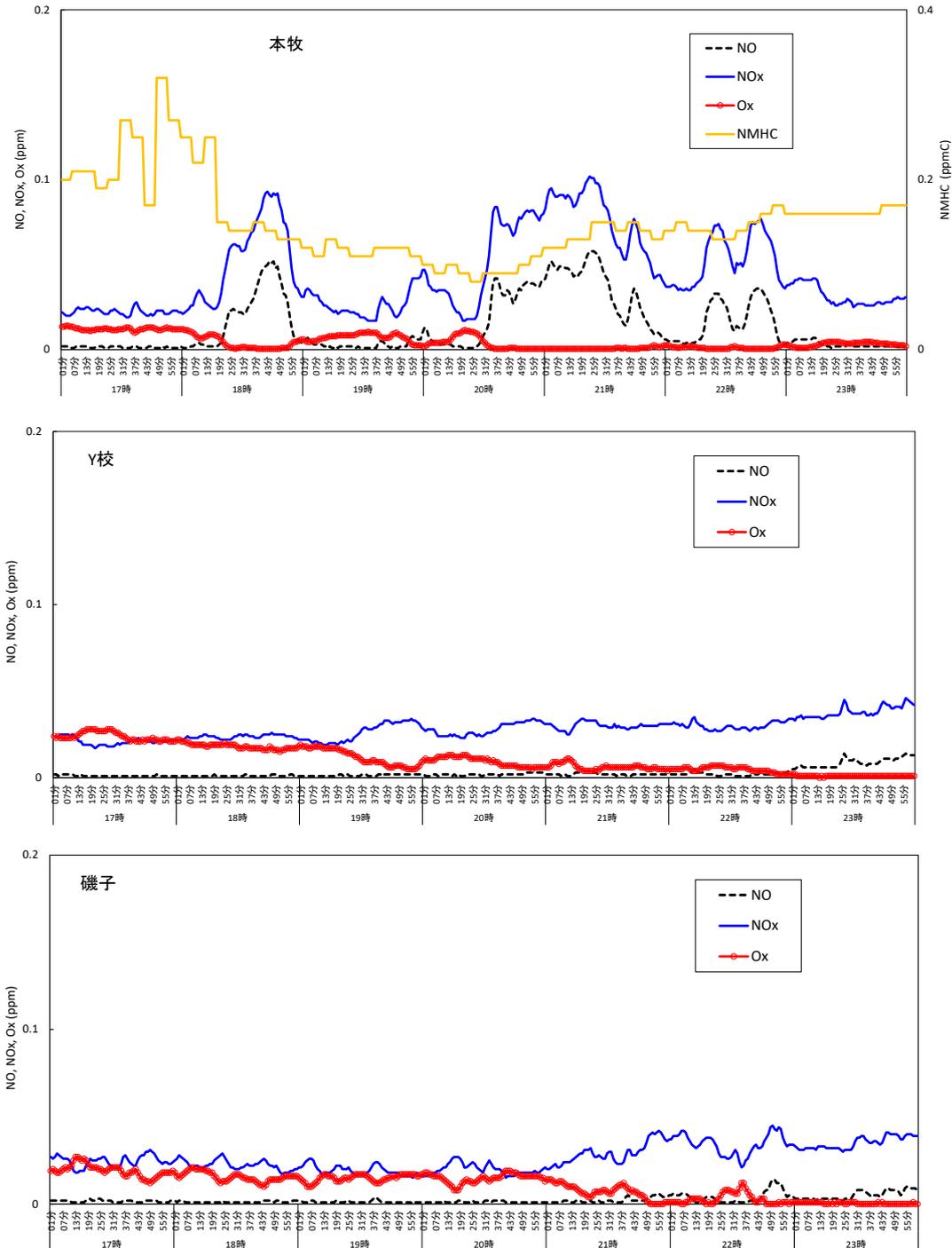


図3 NO、NO<sub>x</sub>、O<sub>x</sub>及びNMHC濃度推移

(中区本牧測定局、南区横浜商業高校測定局、磯子区総合庁舎測定局)